



ジョゼフ・ドルーアン Winartにて 高得点獲得!

「お 坊ちゃんお嬢ちゃん」なる表現が時に否定的な意味をもつのは、そうなりたくてもそうならない人がやっかみ半分を使うからだ。“普通=豊か”という等式のポジティブな無邪気さや、“すでにあるようにあるべくしてある”というナチュラルな軽やかさは、望んだところでたやすく手に入るものではない。

1880年の創業以来、家族経営を貫いてきたジョゼフ・ドルーアンのワインは、正しき「お坊ちゃんお嬢ちゃん」である。ふっくらとして、のびやかで、裏表なく、素直な性格。生まれ育ちのよさから自然と滲みでる気品。すべては純粋にすぎるほど希望に満ち、安らかで、無抵抗だ。

だからこそ、時に言われることがある。「ジョゼフ・ドルーアンのワインはつまらない」と。そう言う人の気持ちは分かる。ハリウッド的な計算づくの興奮やソープオペラ的リップサービスを、ワインを手段に提供しようとする意図が元々ドルーアンにはないからだ。

そのかわりにドルーアンにあるもの。それは作爲なきテロワールの表出である。彼らが持てる土地の豊かさが、特別に意識する必要さえなく、すでにあるようにあるべくしてあるということ。それをそのまま楽しみ、昨日から連続する今日という日を昨日と同じく幸せに過ごす。ブルゴーニュに限らず、高級ワインの世界とは、本来そういうものなのではあるまいか。(コメントと解説:田中克幸/輸入元:三國ワイン)

Tast by Kosuyuki Tanaka



Joseph Dubouche

Chambolle-Musigny
1er Cru Les
Amoureux 2000

シャンボール・ミュジニー
ブルミエ・クリュ
レーザムルーズ
2000

90点

中程度の色あいに、細やかで、しっかりとしたデフィニションがありながらも、ふっくらと広がる、フローラルなラズベリー的な香り。優しく、清潔な酸。ソフトなタンニン。強いといえるような何物もないのに、まったく緩まず、整然としたバランスを長く保つのは、むしろ不思議。尋常ではなくシルキーな質感。飲み頃:2007~2015(15,000円)

Joseph Dubouche

Musigny
Musigny Grand Cru
2001

ミュジニー・グラン・クリュ
2001

95点

数多い要素が緊密に寄り添いつつ、勢いよく立ち上がる、強烈にフローラルな、赤いベリーとミネラルとカカオの、清潔な香り。表面的な大きさや強さとは異なる超高密度の味わいは、贅肉がまったくなく、この年の特徴の最良の例たる清々しい緊張感を保ち、強靱なタンニンにもかかわらずしなやかで、仄かな甘さを長く長く漂わせる。これぞミュジニーだ。飲み頃:2010~2025(25,000円)



Joseph Dubouche

Beaune 1er Cru
Clos des Mouches
Blanc 1999

ボヌー プルミエ・クリュ
クロ・デ・ムーシュ
ブラン
1999

87点

セージや緑茶のような柔らかなハーブぽさに、ぼちぼちとしたフルーティさ。どこにもカドがないまるい味わいの、真綿にくるまれるような心地よさ。若干シンプルで、余韻も軽めで、チャーミングという言葉が似合う性格だが、芯にある果実は十分な凝縮度をもって挿ぐることなく、安定したおいしさだ。飲み頃:Now~2008(11,000円)

Joseph Dubouche

Chassagne-Montrachet 1er Cru
Marquis de Laguiche
1997

シャサーニユ・モンラッシェ
プルミエ・クリュ
マルキ・ド・ラギッシュ
1999

88点

強めのオークに支えられた、アプリコット、赤いリンゴ、バタートーストの、パワフルで重めの香り。中に太い管とおたがツツのある味わいは、タンニックなほろ苦ささえ感じさせるほどで、土っぽくミネラリー。高いアルコール。余韻の滑らかに落ちていくカーブがきれいで、パワフルなワインにありがちな、ストンと消える形ではない。飲み頃:Now~2012(12,000円)

Joseph Dubouche

Chablis Grand Cru
Les Clos 2001

シャブリ グラン・クリュ
レ・クロ
2001

88点

細やかなミネラルを散りばめて、優しく滑らかな質感の、ふっくらとした明るい性格のシャブリ。白桃やソフトなラフランスの、温かみを感じさせる香り。パインアップル的なコクのある味は、シャベットのような可愛らしい酸をもち、シャブリとは思えぬ親しみやすさだが、同時にシャブリならではの透明感をじゅうぶん示して好ましい。飲み頃:Now~2012(10,000円)

Joseph Dubouche

Domaine Drouhin
Oregon Pinot Noir
Laurenne
1996

ドメーヌ・ドルーアン
オレゴン・ピノ・ノール
ローレーヌ
1998

91点

甘めのコクと、クリーミーで厚みのある質感と、スパイシーなアクセントをもった、朗々とした果実味の魅力。パワフルだが、同時に力をフットと抜いたようなエレガントさがあり、いろいろな要素が遠近感をもって配置される、おいしいワイン。赤いベリー、チェリー、ローズマリー、鉄っぽさ、土の、スペクトラムの広い、複雑な香り。飲み頃:Now~2012(8,000円)

Joseph Dubouche

Beaune 1er Cru
Clos des Mouches
Rouge 1999

ボヌー プルミエ・クリュ
クロ・デ・ムーシュ
ルージュ
1999

90点

いかにも99年のパワフルさと、いかにもボヌーな丸い安定感。チェリーやブラックフルーツの濃厚な香り。分かりやすい甘さと、しっかりとたたく粉っぽいタンニンと、土っぽく太い太いある味わいを、適度なスパイシーさが引き締める。明確なキャラクターがすっきりと表現され、気持ち良く、おいしい。余韻も長い。飲み頃:2006~2018(11,000円)

